

小学5年 算数 1学期のまとめ

合同な図形

1 合同な図形

・ぴったり重ね合わせることでできる2つの図形は、合同であるという。

(1) 対応する頂点や辺、角

合同な図形で、重なり合う頂点や辺、角をそれぞれ対応する頂点、対応する辺、対応する角という。

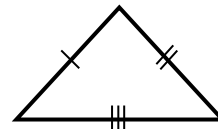
(2) 合同な図形の性質

合同な性質では、対応する辺の長さは等しく、対応する角の大きさも等しくなっている。

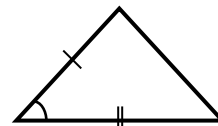
2 合同な三角形のかき方

・次の(1)~(3)の辺の長さや角の大きさがわかれば、合同な三角形をかくことができる。

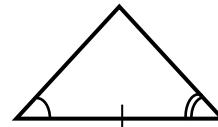
(1) 3つの辺の長さ



(2) 2つの辺の長さとその間の角の大きさ



(3) 1つの辺の長さとその両はしの角の大きさ



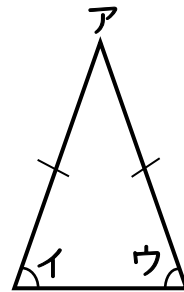
3 合同な四角形のかき方

・四角形に対角線をひき、2つの三角形に分けてかけばよい。

図形の角

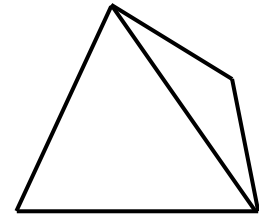
1 三角形の角

- ・三角形の3つの角の大きさの和は、 180° になる。
- ・正三角形では、3つの角の大きさはすべて等しく、1つの角の大きさは、 $180 \div 3 = 60$ で 60° になる。
- ・二等辺三角形は、右の図のように、イ・ウの角の大きさが等しくなる。



2 四角形の角

- ・四角形は、右の図のように、対角線で2つの三角形に分けて考えれば、4つの角の大きさの和が 360° になることがわかる。



- ・長方形や正方形の1つの角の大きさは 90° である。
- ・平行四辺形やひし形は、向かい合った角の大きさが等しい。

3 多角形

- ・三角形、四角形、五角形、六角形、・・・のように、直線で囲まれた図形を多角形という。
- ・多角形の角の大きさの和は、対角線で分けた三角形の数によってわかる。